

ねな
ごと
にお
ひも
とう





なにおもうねこ



柱で爪研ぎを
はじめようとする



はいはい
どうしたの？

と着いていくと



タバサさんはよく
語りかけてくる



ああ
それは良くないね
ダメですよ

…とそっと
柱から爪を外すと
なぜか満足気な
顔をこちらに
向けてくる



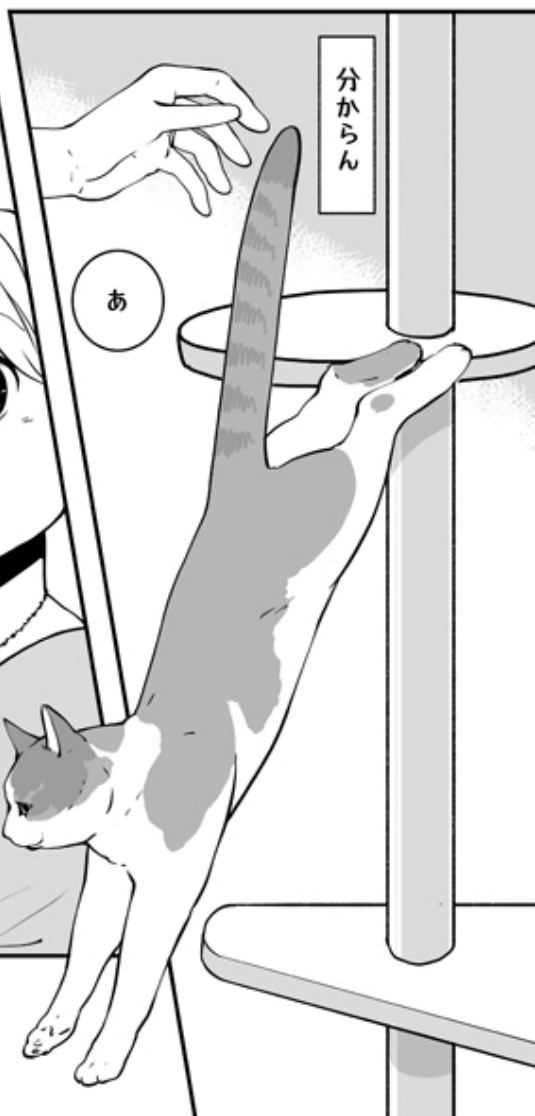
今度は
キャットタワーの柱で
全力で爪を研ぐ



そして再び
誘ってくる



2



お猫様の考えは
にんげん如きが
理解しきれる
ものではないし
理解しているつもりに
なっていない

しかし理解を
諦めてもいけない
そう思いながら
じっと観察する日々





なに
おもう
ね
こと
ひと

どんな気持ちだったんだろう



猫に厳しかった



チャチャさんは
人見知りするけど
猫が大好き

シャンプーさんは
人懐っこいけど

シャンプー

チャ



結婚した時
旦那さんは
二匹の猫と
暮らしていた



しかしやがて
シャンプーさんは
虹の橋を渡ってしまい
チャチャさんは
一匹に…



そんなシャンプーさんも
年をとり動きが鈍くなった頃

チャチャさんはようやく
ちよびつとだけシャンプーさんに
くつつくことができました



犯人はすぐに
判明した



そんな頃
本棚に置いていた
黒猫のぬいぐるみが
落ちていたことが
よくあった



小小
チャチャが
お人形遊び
してたのね



私に気づくと
パツと離れ…



あ





ふふふ
また落ちてる



チャチャさんに
遊んでもらったの？
よかったねー



そんなある日
我が家に小さな
黒猫の男の子が
やってきた

この子は
マタムネくん
と名付けました

